

識。更に本年五月二十二日以來約三週間に渡る青山法谷目
黒印便局等に於ける紛議等主なるものであるが某地堪へず
抗争が行はれてゐる。是等の原因を成すものは一部は時代
に無理解な役人との間に紛争されたことは云ふまでもない
が多くの大正拾五年一月二十日公達第二十八條に基き組織
された従業員會を通し一層激烈化つてゐるのである。従
業員會は従業員諸君が進んで加入してゐるものではない局
長その他他の各局の強硬手段に依る餘儀無く加盟してゐ
る其證據には各局の従業員會の規約には必ず絶対加盟の義務
あるものとす。又他の團體に加盟することを得ずと云ふ條
項が設けられてある之を見ては従業員が意識的に従業員會に
加入してゐないことが明であつて之では従業員の福利を増
進する所の騒ぎでなく全く自由を束縛し權利を蹂躪してゐ
る。以上のことは兎角として従業員會が新階級にして党
外行つて我等従業員を欺瞞せんとするが如きは事實に於て不
可能である。現に従業員會が團體的無能を暴露しぬ紛を

起しつゝ、あるは明に其事を物言つてゐる。
昨年九月二十五日兩日舞鶴に於て開催された共済組合対
策協議會には石塚主事を出席せしめ官業團體との友誼を圖
ることを得た。
越へて拾月三四五の三日間に渡る總同盟全國大會には逆
友同志會最初の参加にして赤松會長、石塚主事、田中留太郎、河
辺六郎、犬塚信男の五名が出席した。
本年二月二十日才二回共済組合対策を協調會館に開き具
体運を開始した。
四月三日總同盟關東労働同盟會第五回大會が開催された。
逆友同志會よりは二十名の代表員が出席した。其他各都人
報告は各都に於て明細に報告する。

△事。故。防。止。宣。傳。デ。宣。報。旅。報。告。▽
本件は神田支部の提案に依り才二回の大會に決定された
ことであるが其の主なる原因は我等通信従業員が職務遂行